



▲地域防犯力の向上について協議(パネルディスカッションの様子)



▲近隣校区が初めて一同に会しての開催

地域の話題

福江中学校地域

地域の安全は、地域自らが守る

福江中学校地域の4校区協議会(亀山・中山・福江・清田)から、地域全体で考える防犯力の向上について、お便りが届きました。



6月28日(金)の夜、福江市民館で福江中学校地域(亀山・中山・福江・清田)の校区協議会役員をはじめ、学校、警察、防犯ボランティア団体など73名が集まり「防犯ボランティア養成講座」が開催されました。

地域で何ができるか

平成24年度末に亀山・中山・中山の駐在所が廃止され、福江幹部交番に統合されたことで、福江中学校地域では防犯体制に不安が広がっていました。

そこで、地域防犯力を向上させるきっかけとして、田原警察署生活安全課からの犯罪発生状況の報告や防犯に関する取り組み紹介の後、愛知大学鈴木誠教授を講師に招き、講

話およびパネルディスカッションによる意見交換を行いました。

地域の絆づくりが

地域防犯力を高める!

鈴木教授からは「地域における絆づくり(地域活動)こそ地域防犯力の向上の要。田原市の素晴らしい地域の組織体制(地域コミュニティ)



●鈴木教授から励ましの言葉をいただきました

を大切に、取り組みをさらに続けてほしい」とエールをいただきました。

講座の成果を生かして

パネルディスカッションでは、「防犯について一緒に活動する福江中学校地域単位での組織が必要ではないか」や「校区での防犯の取り組み(青少年健全育成、防犯パトロールなど)に防犯ボランティア団体が融合して一緒に活動していけると良い」など、前向きな意見が出されました。

亀山・中山・福江・清田の4校区では、今回の講座を機会として、『地域の安全は地域自らが守る』という意識のもと、防犯活動の組織化や地域課題の共有など地域全体が一体となった取り組みの必要性を再認識する機会となりました。

